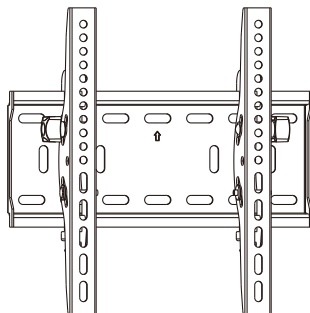


薄型テレビ 上下角度調節付き 壁掛け汎用金具  
TV セッターチルト



# TVSTIFT100S

## 設置マニュアル



### 施工者の方へ

#### 設置前に必ずテレビと金具の適合をご確認ください

右のQRコードから最新の適合情報・設置の注意点などをご覧ください



#### ●設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦 : 50 ~ 300mm 横 : 50 ~ 300mm	<b>26-55</b> インチ	<b>75kg</b>

この度は、お買い上げいただき誠にありがとうございます。

当商品は、D I Y (日曜大工) が得意な方でしたら、慎重に作業すれば設置可能です。  
しかし、組立・取り付けの不備による事故について保証はございませんので、作業に際しましては十分にご注意くださいますようお願い申し上げます。

基本的には、お近くの内装業者・電設業者へ依頼をされる事をお勧めします。



組立不良・取り付け不良、および天災等による事故・損害については、一切の保証はございませんので、ご了承ください。

- ・安全性を十分に考慮し、設置中に怪我や部屋にキズを付ける事の無いよう注意下さい。
- ・設置にあたっては、十分な作業スペースを確保してください。
- ・取り付け工事は2名以上で行うことを強く推奨いたします。
- ・テレビの壁掛け以外のご使用、部品の改造等はしないでください。
- ・設置中に少しでも不安を感じた場合は、作業を中断し、お近くの内装業者・電設業者にご相談ください。

製品に関するお問い合わせ： **0422-38-4912** 受付時間10:00~18:00(土・日・祝除く)

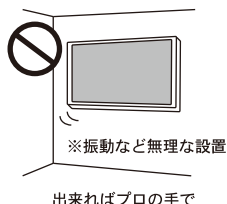
販売元：スタープラチナ株式会社

〒180-0006 東京都武蔵野市中町2-2-2 ジュネス武蔵野5F  
<https://starplatinum.co.jp/>

## 設置にあたって：必ずお読みください

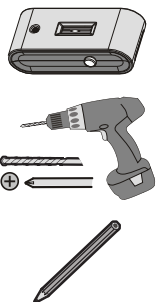


- 必ず耐荷重強度のある壁や壁裏の間柱（スタッド）にしっかりと設置してください。無理な設置はテレビの落下、大怪我に繋がります。石膏ボード壁のみへの設置はお止めください。
- コンクリートやレンガ壁に設置する場合、専門業者に依頼するようにしてください。
- 電源コードや配線にキズを付ける事の無いように注意ください。火災などの原因になります。
- 設置の際は、テレビや周辺機器の電源をコンセントから抜くようにしてください。
- 以下の場所には設置をしないでください。
  - ・振動があるような不安定な場所
  - ・人がぶら下がったり、寄りかかったりするような場所
  - ・湿度や温度の高い場所
  - ・テレビの通気が悪い場所（エアコンの側、天井のすぐ側等）
  - ・開閉するドアの側
  - ・その他、テレビ設置に不適格と思われる場所



## 設置があると便利な道具

- 1) 間柱センサー  
壁裏にある間柱を見つけるのに便利です。  
細い針（検知針）やキリを壁に刺して代用する事も可能です。
- 2) ドライバー  
ネジ頭のサイズに合わせて、数種類があると便利です。
- 3) ドリルドライバー  
電動ドライバーです。壁のネジ穴の下穴を開けるのにも使えます。
- 4) ペン  
壁にネジを打ち込む位置をマーキングします。
- 5) メジャー  
床からの距離を測ったり、金具の水平を取る時などに使用場合があります。
- 6) 柔らかい布  
設置の過程で、床などにテレビを置く事になります。下に敷いてテレビを保護します。
- 7) 軍手  
手を保護します。テレビを持つ時は滑らないように素手が良いかもしれません。



## さあ、設置・・・の前に

- 設置前にテレビと金具の適合を必ずご確認ください。

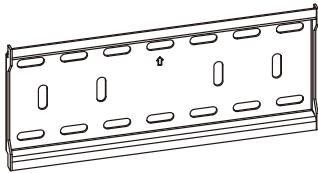
取り付け前提条件	テレビ背面对応ネジ穴幅	対応テレビインチ	最大テレビ重量
テレビ背面に壁掛け用のネジ穴が開いていて、 テレビ背面がフラットである事	テレビ背面にある壁掛け用ネジ穴の縦横ネジ幅 縦：50～300mm 横：50～300mm	<b>26-55</b> インチ	<b>75 kg</b>

- 設置に必要なネジ類は付属しています。しかし壁の状態によっては若干短かめのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご用意下さい。

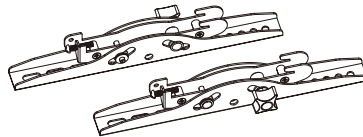
## 付属部品リスト一覧

以下の部品が全て揃っているかをご確認ください。もし足りない部品がある場合、ご購入店にご連絡ください。

### A 壁面ベースプレート (壁にボルト打ちします)



### B テレビブラケット×2個 ※左右対称



### C 水平器



●以下のネジについては別途、透明の袋に同梱しております。



M4×14mm ボルト 4本



M4×25mm ボルト 4本



M5×25mm ボルト 4本

### ●ネジパッケージM (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

テレビと金具の接合に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。

#### M-A



M5×14mm ボルト  
4本

#### M-B



M6×14mm ボルト  
4本

#### M-C



M8×20mm ボルト  
4本

#### M-D



M6×30mm ボルト  
4本

#### M-E



M8×50mm ボルト  
4本

#### M-F



角型ワッシャー 4個

#### M-G



小型スペーサー 8個

#### M-H



スペーサー 4個

### ●ネジパッケージW (ネジ袋にナンバリングがしてあります)

壁に金具を取り付ける際に使用する部品です。全ての部品を使用するわけではありません。

#### W-A



壁用ラグボルト  
5.5×50mm 6本

#### W-C



壁用ワッシャー  
6個

※壁の状態によって、少し短めのネジがあると作業がし易い場合があります。その時はホームセンター等でご相談ください。

## ステップ 1-A テレビブラケットのテレビへの取り付け

※テレビの背面に凹凸がある場合、下段にお進みください

### ① テレビ背面にブラケットをあてがいます。

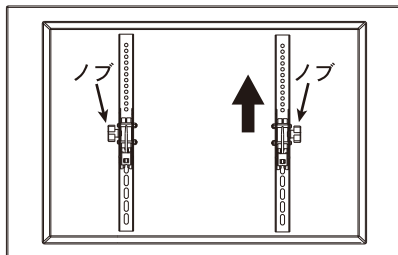
図を参考にブラケットをテレビ背面のネジ穴にあてがいます。

**角度調節ノブを外側にして下さい。**

**左右を間違えないように設置をお願いします。**

どれかのネジ穴に合うはずです。

万一、テレビの背面のネジ穴とブラケットのネジ穴が合わない場合、テレビの壁掛けは出来ません。



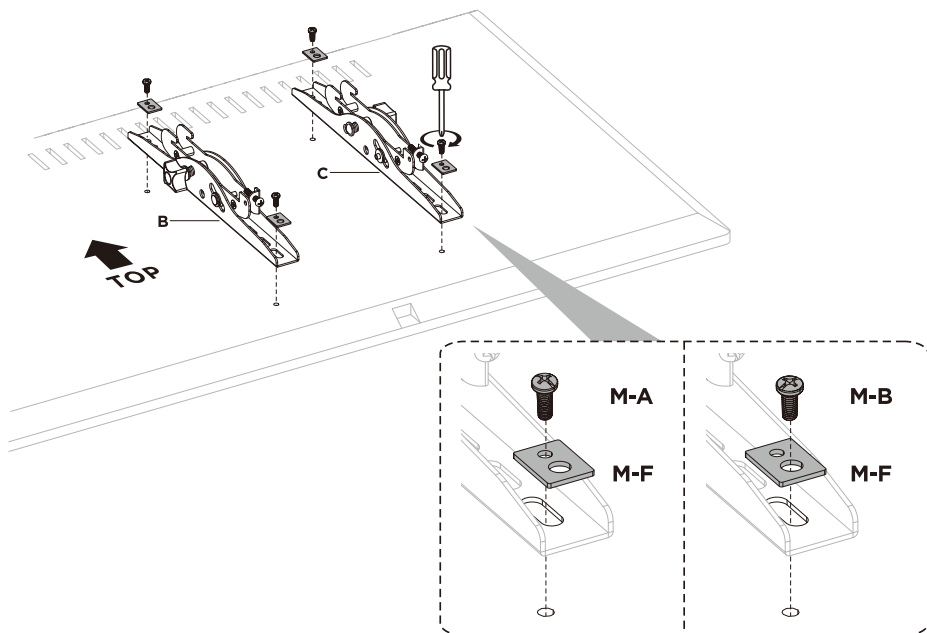
### ② テレビの背面が平面の場合の取り付け

テレビブラケットをテレビに取付します。下記のイラストを見て**金具の上下を間違えないようにしてください。**



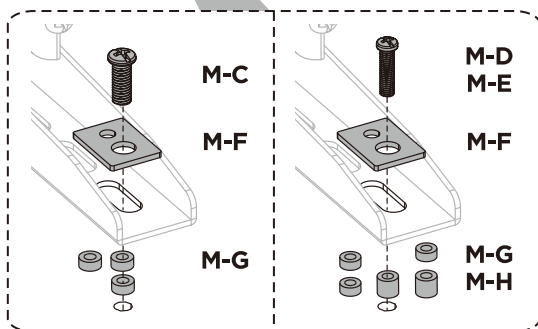
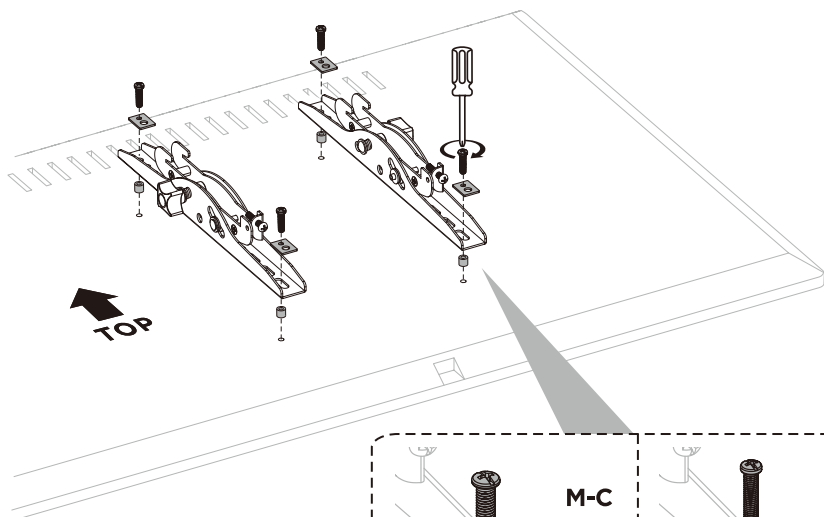
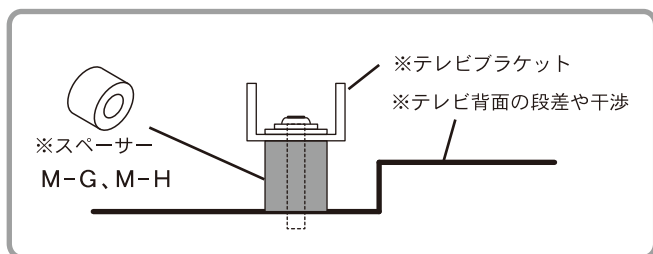
ネジ穴を合わせて、ネジ [M-A、M-B、M-D 他各種] とワッシャー [M-F] で取付をします。  
テレビに合うネジがない場合、お手数ですがホームセンター等でご用意下さい。

ネジ [M-A、M-B、M-D] が太すぎてテレビのネジ穴に入らない場合、別途同梱されている透明袋のネジをお使い下さい。



## ステップ 1-B テレビの背面に凹凸がある場合

テレビに段差があったり、ネジが長すぎる場合、付属のスペーサーを使って、段差などを埋めます。  
最適なスペーサーの噛ませ方については、右図を参考にお手元のテレビに合わせて下さい。



※ワッシャーには2箇所穴が開いていますが、  
ネジの太さに合わせてどちらかを使用して下さい。

## ステップ 2-A 壁面の強度の確認と下穴の開口



### テレビ壁掛けの最重要ステップです。

取り付けは、慎重・確実に作業するようにしてください。

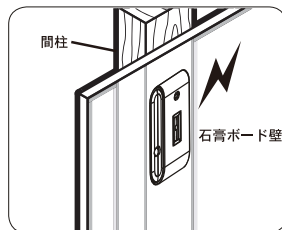
壁面への取付不備による事故・損害については、一切の保証がありません。少しでも不安に感じたら、お近くの内装業者・電設業者に相談してください。

### 最重要ポイント

**壁裏の間柱や強度の強い壁に設置を！！石膏ボードのみへのネジ打ちでは強度不足です！**

#### ●壁の構造について（必ず耐荷重のある壁への設置を！）

設置は補強のある壁、もしくは壁裏の間柱（スタッド）に行ってください。石膏ボード壁の場合、ボードのみの部分にネジ打ちする事の無いよう、十分に注意ください。壁裏の間柱を見つけるにはホームセンター等で売っている壁裏センサー（1500 円程度）やキリを更に細くした検知針が便利です。



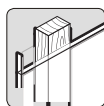
●一般的石膏ボード壁の場合  
壁裏センサーを使用して間柱を見つける。  
キリ等を使う場合、何度か刺して柱の中央  
を見つけましょう。

#### ●間柱を見つけたら

間柱を発見した場合、間柱の「中央」にネジを打つ必要があります。間柱の端にネジを打つと強度が不十分だったり、間柱が割れてしまう事もあるので注意しましょう。詳しくは、センサーや検知針の説明書をご覧ください。

#### ●コンクリートやレンガ壁について

コンクリートやレンガ壁への設置は、難易度が高い施工になります。お近くの内装業者等の専門業者に依頼してください。個人での設置は絶対に行わないようにしてください。



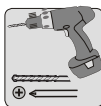
間柱に設置を



壁裏センサー



マーキング



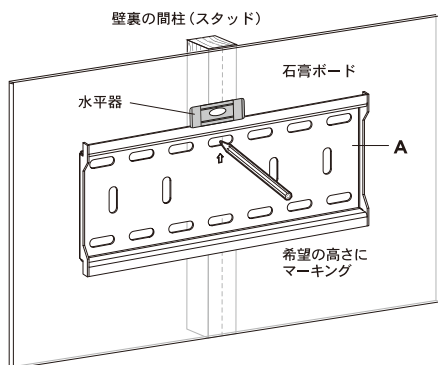
壁へのネジ打ち

### 1 設置位置の確定

現在の主流である石膏ボード壁の場合、上記を参考に壁裏の間柱（スタッド）を見つけてください。

間柱は一般的に 40 ～ 45 センチ幅で設置されている事が多いようです。ご参考ください。

間柱が確定したらベースプレートを用いて、左図のようにネジ穴にマーキングをします。



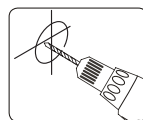
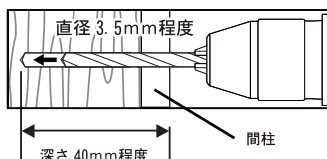
### 2 ネジ打ち用下穴の開口

壁を横から見た断面図（下）を参考にして、ネジ打ち用の下穴を開けます。電動ドリルがあると便利です。壁にキズをつけますので、慎重に作業を行ってください。

下穴を開けておくと「ステップ 3-B」が楽になり、工事の失敗の可能性が下がります。



目視&水平器等を参考に  
に水平に設置を！



間柱

下穴は真っ直ぐに開けるよう注意を

## ステップ 2-B 壁面への金具の取り付け



壁へのネジ打ち

**最も大切な部分です。**

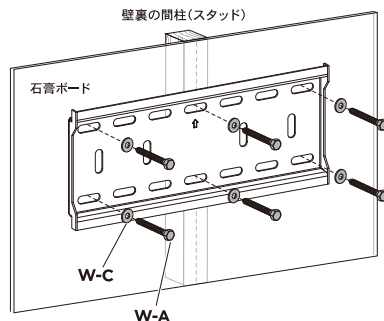
右図を参考に壁用ラグボルト[W-A]を使用して金具を壁面にしっかりと打ち付けます。

間柱一本打ちの場合、補強の意味で石膏ボード部にもネジ打ちしてください。この時、石膏ボード用アンカーを利用すると更に強度がアップするのでオススメです。石膏ボード用アンカーはホームセンター等で購入可能です。目安として 35kg 以上の重いテレビを壁掛けする場合、ネジ6本がしっかりと効くよう補強された壁に設置してください。



### 最重要ポイント

ネジ打ち後、少しでも違和感を感じたら(ネジの空効き等)  
ご注意 設置を中断し、専門業者に相談してください。



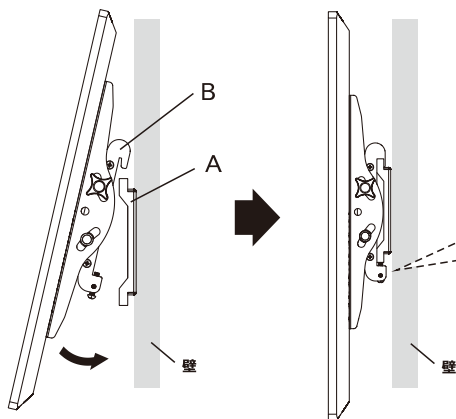
## ステップ 3 テレビと壁面プレートの取り付け



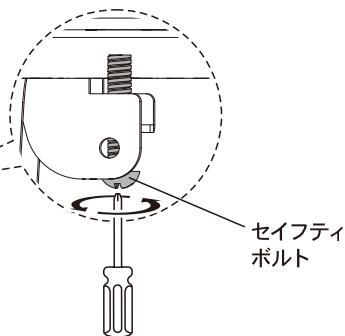
**必ず二人での作業を!!**

左右のテレビブラケット[B]の上部を壁面プレート[A]の上部に引っかけます。上部がしっかりと引っかかっている事を確実に確認してください。

この作業の前に、必要な配線の取り付け処理を行っておくと良いでしょう。



背面下部に凸のあるテレビをご使用の方は  
必ずセーフティボルトを締めてください



- ゆっくりとテレビを壁側に沿わせず。この際、取り付けた配線が折れ曲がったりしないように気を付けてください。
- 最後に右図を参考にセーフティボルトをしっかりと締めます。

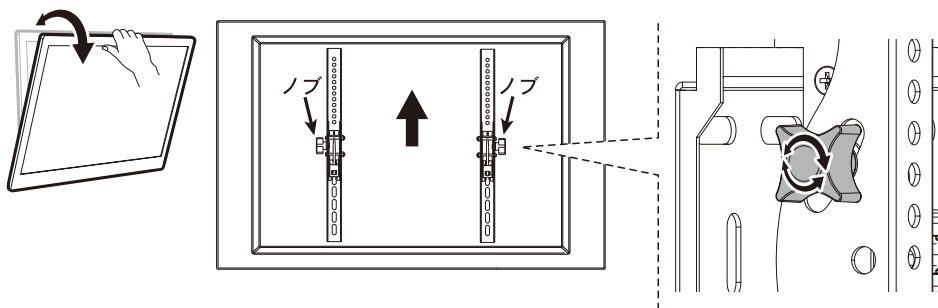
### 耐震効果を高める設置 セーフティボルトについて

セーフティボルトをしっかりと締める事で耐震効果が大きく向上します。  
必ずきつめにガッチリと締めるようにしてください。  
又、定期的(半年程度)に緩みがないかをご確認ください。

## ステップ 4 角度調節と最終確認

### 角度調節の方法について

テレビの重量に合わせて、ノブの締めつけ強さを調節してください。



最終的にしっかりと組立・取り付けが行われているか確認してください。  
少しでも不安点があった場合、お近くの内装業者・電設業者様にチェックの依頼を  
してください。